

# 凍結のおそれがあるときの処置

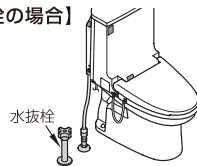
次の手順で水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。

## 1 止水栓を閉めて(または水抜栓を開けて)給水を止める

【止水栓の場合】

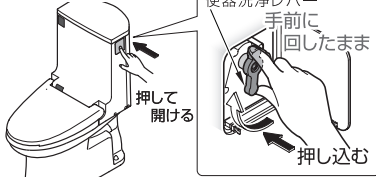


【水抜栓の場合】



## 2 ロータンクの水を抜く

【ZK2・ZK3の場合】



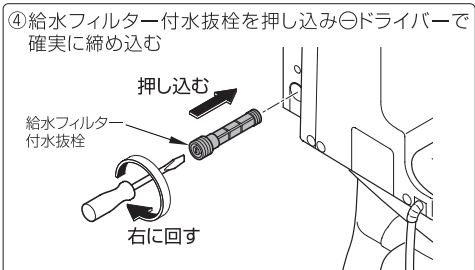
【ZK1の場合】



## 3 配管の水を抜く

①リモコンの「ノズルそうじ入/切」スイッチを押す  
(製品内部の残水を抜きます。)

③もう一度、リモコンの「ノズルそうじ入/切」スイッチを押す



**注意** 止水栓を開けたままで、給水フィルターをはずさない  
禁止 水が噴き出します。

## 4 給水ホース内の水を抜く

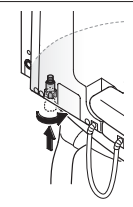
- ①止水栓側の給水ホースをはずし、ホース内の水を抜いてください。
- ②ホース内の水が完全に抜けたら、もう一度接続してください。
- ③給水ホースの取りはずしかた・接続のしかたは P.8ページ参照

## 5 ウォシュレット内の水を抜く

- ①ドレンプラグの下に水受けを置く(2L以上入るもの)
- ②ドレンプラグを左に回してはさず  
※水が完全に抜けるまで1分程度かかります。



- ③水抜きが終わったら、ドレンプラグを元の位置に戻し、右に回して確実に締め付ける



**注意** 取り付けや取りはずしの際には、ペンチなどの工具は使用しないでください。水漏れの原因になります。

## 6 電源プラグを抜く

## 7 便器内の溜水を処置する

# TOTO

# 施工説明書

## ウォシュレット® 一体形便器ZK1・ZK2・ZK3 CES9002型・CES9012型・CES9022型

### 工事店様へ

- 取扱説明書最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。



|           |   |
|-----------|---|
| はじめに      | 2 |
| 安全に関するご注意 | 2 |
| 取り付け前のご注意 | 3 |
| 同梱部品      | 4 |
| 各部のなまえ    | 4 |
| 施工手順      | 5 |

|                    |    |
|--------------------|----|
| 1 止水栓を取り付ける        | 5  |
| 2 便器を取り付ける         | 5  |
| 3 ウォシュレット本体を取り付ける  | 6  |
| 4 ヒータ付便器のコネクタを接続する | 7  |
| 5 給水ホースを接続する       | 8  |
| 6 ロータンクの水量調節をする    | 9  |
| 7 アース線を接続する        | 12 |
| 8 電源プラグを接続する       | 12 |
| 9 リモコンを取り付ける       | 13 |

|                |    |
|----------------|----|
| 試運転            | 13 |
| 給水フィルターの掃除     | 15 |
| 凍結のおそれがあるときの処置 | 16 |

はじめに

取り付けかた

試運転他


## はじめに


施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けください。

## 安全に関するご注意 安全上の警告・注意事項を必ず守ってください!






**警告** 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される」内容です。




【絵表示の例】  してはいけない「禁止」の内容です。

 必ず実行していただく「強制」の内容です。

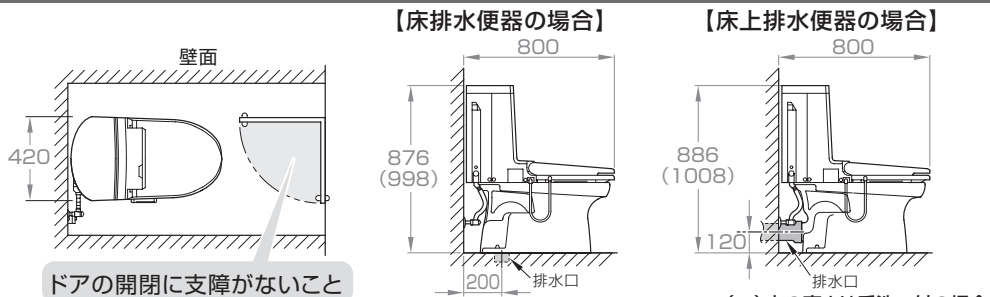
### 警告

|   |  |
|---|--|
|    | 浴室など湿気の多い場所には設置しない<br>火災や感電の原因になります。                                       |
|    | 指定する電源(交流100V)以外では使用しない<br>火災の原因になります。                                     |
|   | 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない<br>火災や感電の原因になります。                  |
|    | 水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない<br>皮膚の炎症などを起こす原因になります。                          |
|   | 車輛・船舶など、移動体への設置はしない<br>火災や感電、故障の原因になります。<br>便座・便ふたなどがはずれて落下し、けがをする原因になります。 |
|   | 電源プラグは根元まで確実に差し込む<br>プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。                      |
|   | 給水管のパッキンなどを取り替えるときは、配線や機器などに水をかけない<br>故障や漏電の原因になります。                       |
|  | アース(D種接地)工事を確実にを行う<br>アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。                      |

### 注意

|  |  |
|--|--|
|   | 便座・便ふたを持って製品を持ち上げない<br>本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。    |
|  | 給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない<br>水漏れの原因になります。              |
|  | 止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない<br>水が噴き出します。           |
|   | 給水ホースにお湯を通したり、凍結防止ヒータを使用しない<br>水漏れの原因になります。        |
|  | 施工は施工説明書に従って確実にを行う<br>正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。 |
|  | 給水フィルター付水抜栓は確実に締める<br>確実に締めないとき水漏れの原因になります。        |
| ロータンクの給水量は必ず調節する  9ページ 「6」ロータンクの水量調節をする<br>ロータンクから水があふれ出し、床をぬらす原因になります。 |  |

## 取り付け前のご注意



- 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
- ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は568W(水抜方式:568W、ヒータ付便器:604W)です。この電力に適した配線をしているか確認してください。
- 電源コード・アース線の長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 給水圧力範囲は0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧)です。この圧力範囲でご使用ください。
- 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
- 同梱以外の給水ホース、止水栓を使わないでください。

### 給水ホースの長さが足りないとき、長すぎるときは・・・

止水栓の位置が異なる場合は、製品にあらかじめ取り付けられている給水ホースでは長さが合わないことがあります。その場合は、下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。

(製品に取り付けてある給水ホースの長さは600mmです。)

お求めはTOTOPARTSセンター TEL: 0120-8282-55, FAX: 0120-8272-99へご連絡ください。

| ホース長さ(mm) | 品番         | ホース長さ(mm) | 品番         |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 200       | D24008-1ZS | 800       | D24008-4ZS |
| 300       | D24008-2ZS | 1000      | D24008-5ZS |
| 400       | D24008ZS   | 1200      | D24008-6ZS |

- 給水ホースには折れ曲がり防止のため保護材(ダンボール)が取り付けられています。機能部本体を便器にセットする直前に、保護材をはずしてください。

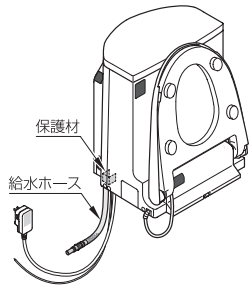
※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

### 総合セット品番

|      |     |       |       |        |       |            |                         |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |
|------|-----|-------|-------|--------|-------|------------|-------------------------|---|--|--|--|---|--|--|--|---|--|--|--|---|--|--|--|---|--|--|--|
| C    |     |       |       | E      |       |            |                         | S |  |  |  | □ |  |  |  | □ |  |  |  | □ |  |  |  | □ |  |  |  |
| 機種   |     | 便器タイプ |       | 手洗いの有無 |       | タンク金具+給水金具 |                         |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |
| 記号   | タイプ | 記号    | タイプ   | 記号     | タイプ   | 記号         | タイプ                     |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |
| 9002 | ZK1 | なし    | 防露あり  | なし     | 手洗いなし | E          | 一般地+止水栓                 |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |
| 9012 | ZK2 | H     | 防露ヒータ | L      | 手洗い付  | G          | 寒冷地用<br>+<br>ソケット(水抜方式) |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |
| 9022 | ZK3 | P     | 防露P排水 |        |       | F          | 寒冷地用<br>+<br>止水栓(流動方式)  |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |

# 同梱部品

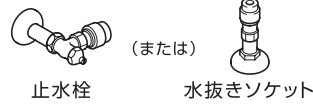
## 機能部本体



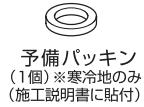
## リモコン部品



## 止水栓 (または水抜きソケット)



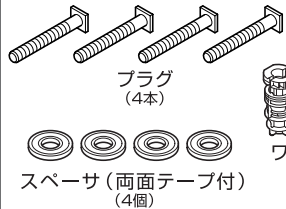
## 予備パッキン



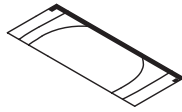
## ロータンクパッキン



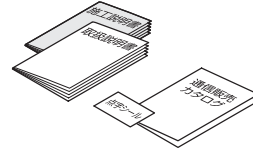
## 取付ボルト組品



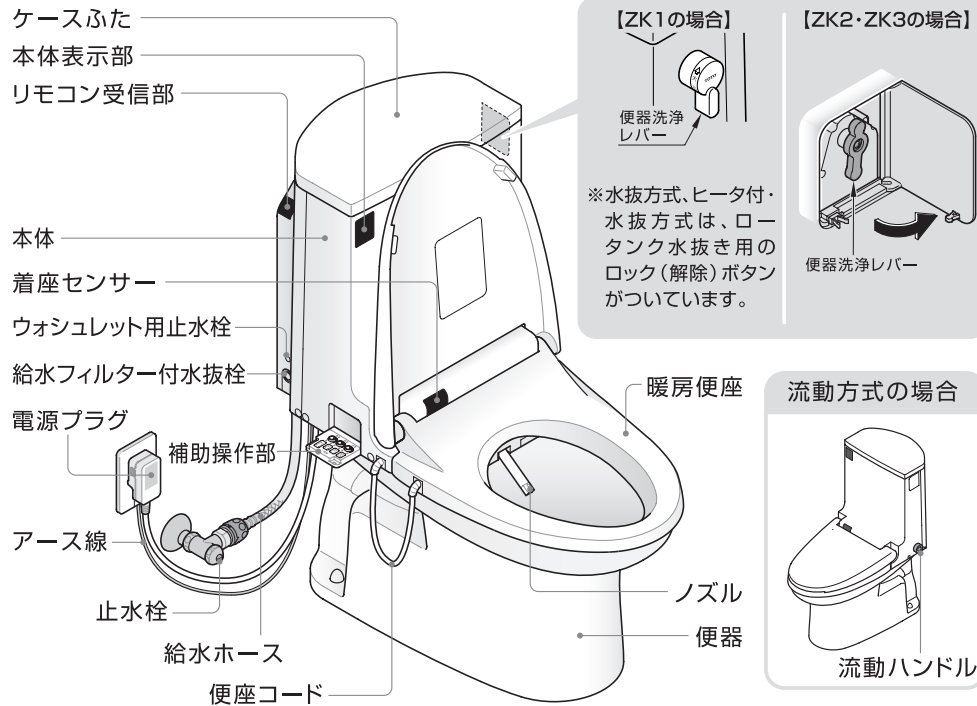
## 型紙



取扱説明書、施工説明書(本書)、通信販売カタログ、点字シール



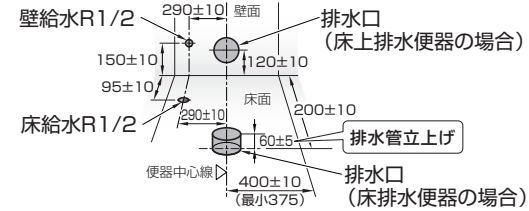
## 各部のなまえ



# 施工手順 この手順に従って施工を行ってください。

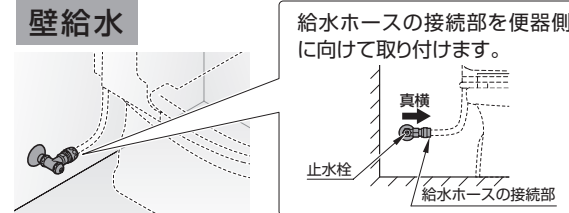
- 1 止水栓を取り付ける
  - 2 便器を取り付ける
  - 3 ウォシュレット本体を取り付ける
  - 4 ヒータ付便器の接続する
  - 5 給水ホースを接続する
  - 6 水量調節をする
  - 7 アース線を接続する
  - 8 電源プラグを接続する
  - 9 リモコンを取り付ける
- (作動・水漏れチェック) 試運転をする

## 1 止水栓を取り付ける

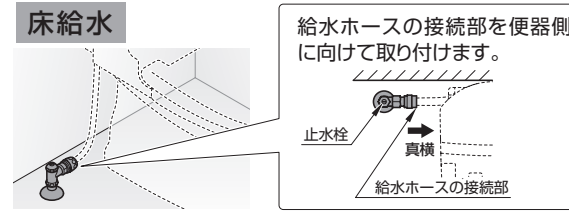


① 給水金具と排水管の位置を決める  
※給水口と排水口は、ゴミなどが入らないよう、ビニールなどをかぶせておいてください。

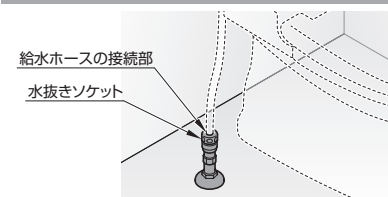
## 壁給水



## 床給水



## 床給水(水抜き方式、ヒータ付・水抜き方式)



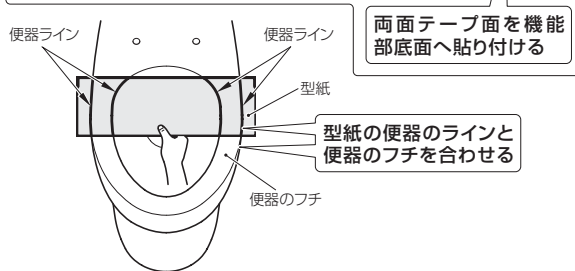
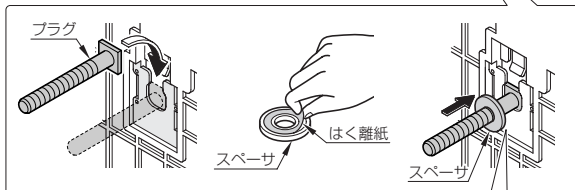
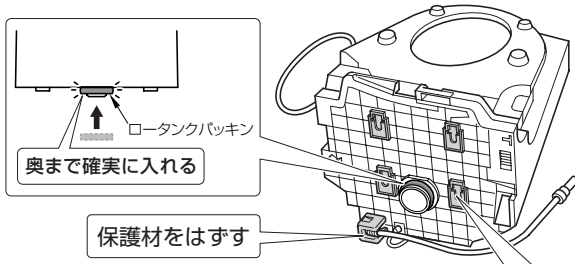
② 止水栓(または水抜きソケット)を取り付ける

取り付け前に・・・  
止水栓(または水抜きソケット)を取り付ける前に、給水管内のごみ、砂などを完全に取除いてください。同梱の止水栓(または水抜きソケット)を必ず取り付けてください。

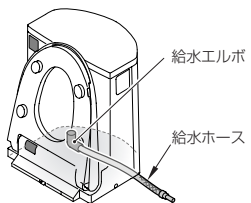
## 2 便器を取り付ける

便器の取り付けかたは、便器側に同梱の「便器の施工説明書」をご覧ください。

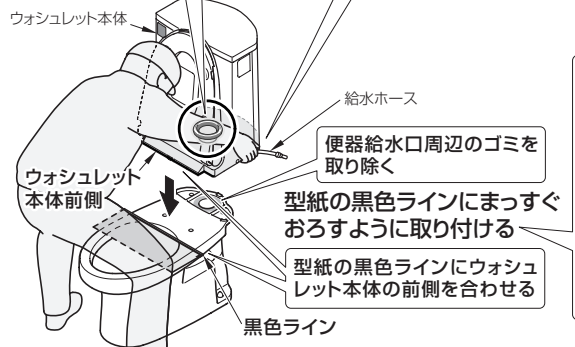
### 3 ウォシュレット本体を取り付ける



給水エルボは必ず右側へ向けてから、ウォシュレット本体を便器に取り付けてください。  
※左側に向けて取り付けると、給水ホースが折れる原因になります。



ロータンクパッキンが取り付けられているか確認



① ウォシュレット本体底面にロータンクパッキンを取り付ける

#### △注意

ロータンクパッキンは図のように正しく取り付けてください。正しく取り付けないと水漏れの原因になります。

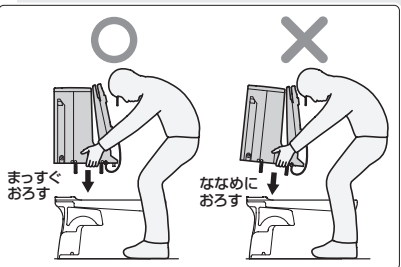
② ウォシュレット本体底面にプラグ(4本)を取り付ける

③ スペーサ(4個)のはく離紙をはがす

④ スペーサの両面テープ側が機能部底面と貼り合わせになるようにプラグに通し、スペーサを貼り付ける

⑤ 型紙を置く

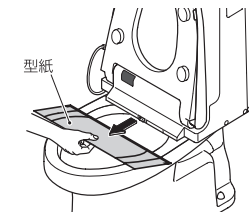
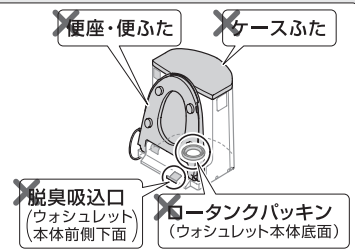
⑥ 給水ホースとウォシュレット本体を持って便器に取り付ける



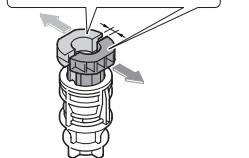
### 3 ウォシュレット本体を取り付ける(つづき)

#### △注意

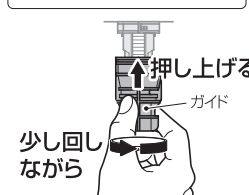
パッキン及び給水口周辺のゴミは必ず取り除いてください。また、便器にウォシュレット本体を取り付けるときは、必ずまっすぐおろしてください。ゴミを取り除けなかったり、ウォシュレット本体をななめにおろすとパッキンがめくれて漏水の原因になります。ウォシュレット本体を持ち上げるときは、右図の場所は持たないでください。右図の場所を持つと、便座・便ふたがはずれたり、製品が破損する原因になります。



① つばが広がっていることを確認する



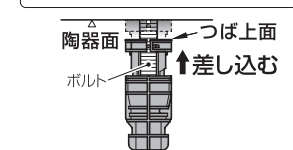
③ ガイドを少し回しながら押し上げる



#### △注意

型紙をはずすときは、汚水防止パッキンがめくれないように注意してください。

② つば上面が陶器面に当たるまでボルトに差し込む



④ ワンタッチナットを指先でしっかり締め付ける



⑦ 型紙をははずす



⑧ ワンタッチナットでウォシュレット本体を固定する  
※後側2カ所を先に固定してください。その後、便座の位置を合わせて前側2カ所を固定してください。

#### △注意

ワンタッチナットを締め付けるときは必ず手で行ってください。工具を使用すると破損の原因になります。

#### 確認!

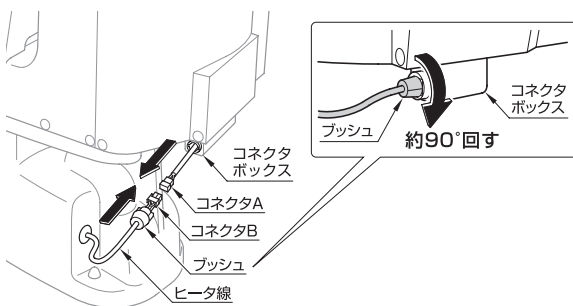
※ウォシュレット本体のガタつきがないことを確認してください。

取りはずすときは・・・

本体を取りはずすときは、手で取りはずしてください。工具を使用しないでください。

取り付けかた

### 4 ヒータ付便器のコネクタを接続する



① コネクタA・Bを接続する

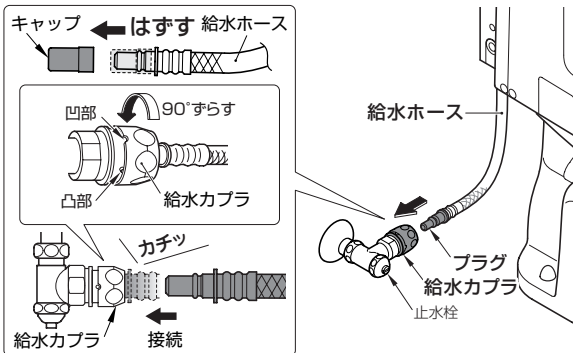
#### 確認!

●コネクタの向きに注意して接続してください。  
●コネクタ本体をかるく引っ張り抜けないことを確認してください。

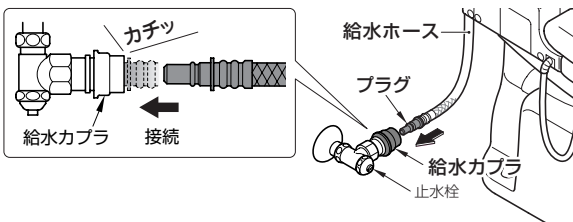
② コネクタA・Bをコネクタボックスに押し込む

③ プッシュをコネクタボックスに差し込んで、90°回転させて固定する

## 5 給水ホースを接続する



止水栓が下図のような形状の場合、給水ホースの接続のしかたが異なります。手順にしたがって作業を行ってください。



### 取り付け前に・・・

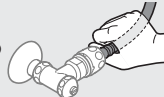
給水ホースは、あらかじめ機能部本体の後方に取り付けられています。ここでは、止水栓側（水抜き方式及びヒータ付・水抜き方式のときは水抜きソケット側）を接続します。

- ① 給水ホースの先端のキャップをはずす
- ② 給水ホースのプラグ側を止水栓（または水抜きソケット）の給水カブラに差し込み、給水カブラの凹部と凸部を90°ずらした位置にする

### 注意

給水カブラに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。音がしないときは差し込み不足です。水漏れの原因になります。差し込んだ後、ホースを引っ張って正しく差し込まれているか確認してください。

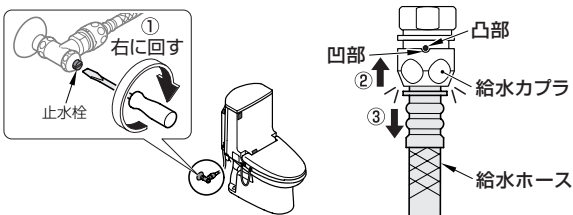
### 引っ張って確認する



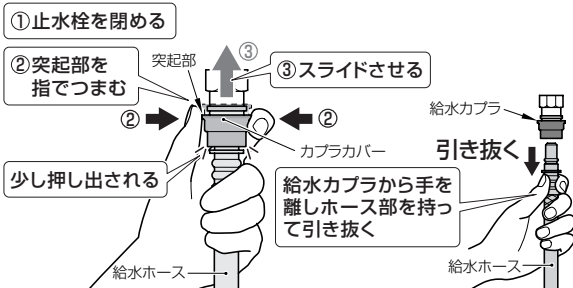
※給水ホースの長さが足りない場合は、3ページに長さ違いの給水ホースを記載しています。

## 給水ホースの取りはずしかた

施工のやり直しなどで給水ホースを取りはずすときは次の手順で行ってください。



止水栓が下図のような形状の場合、給水ホースの取りはずしかたが異なります。手順にしたがって作業を行ってください。

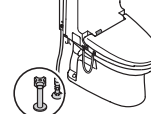


## 6 ロータンクの水量調節をする

### 【止水栓の場合】



### 【水抜き栓の場合】



- ① 止水栓を開ける（水抜き栓の場合は閉める）

### 確認!

●配管及びウォシュレット本体から水漏れしていないか確認してください。

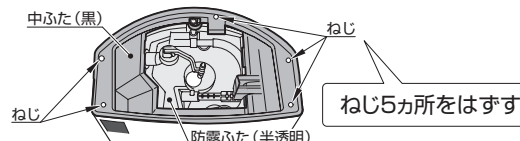
### 【手洗いなしの場合】

ケースふたの後方を上げながらはずす

### 【手洗い付の場合】

ケースふたの後方を上げながらはずす

- ② ケースふたを取りはずす

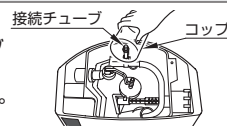


- ③ 中ふた(黒)を取りはずす

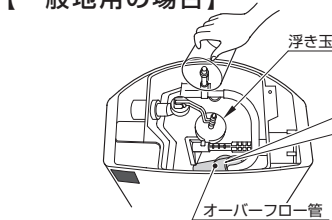
- ④ 防露ふた(半透明)を取りはずす

### 注意【手洗い付の場合】

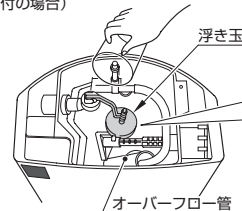
手洗いがこぼれないように接続チューブにコップなどをかぶせてください。水が噴き出て壁や床をぬらす原因になります。



### 【一般地用の場合】

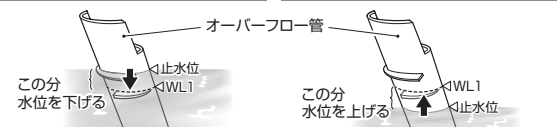


(図は手洗い付の場合)



### ⑤ ロータンクの止水位を調節する

- ① 止水位がオーバーフロー管の「WL1」より上か下か確認する  
止水位が「WL1」より上にあるとき 止水位が「WL1」より下にあるとき



- ② 浮き玉を回し、オーバーフロー管の「WL1」に止水位を合わせる  
●浮き玉の高さによって止水位を調節できます。  
●1回転回すと、水位が約3mm変わります。  
●止水位は、一度便器の水を流してから、自然に止まる位置で確認してください。

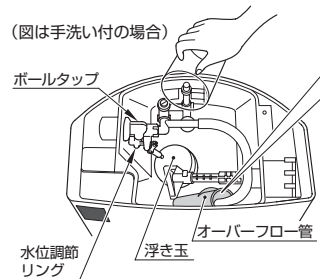


※「WL1」に合わせると便器洗浄水量は8Lに調節されます。便器洗浄水量を10Lに調節したいときは「WL2」に合わせてください。

### 注意

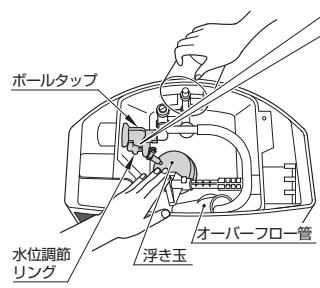
止水位は正しく合わせてください。正しく合っていないと、汚物がきれいに流れなかったり、便器の水が止まらなかったり便器が詰まったりすることがあります。

【寒冷地用（水抜方式、ヒータ付・水抜方式、流動方式）の場合】



① 止水水位がオーバーフロー管の「WL1」より上か下か確認する

止水水位が「WL1」より上にあるとき      止水水位が「WL1」より下にあるとき



② ボールタップの水位調節リングを押し、オーバーフロー管の「WL1」に止水位を合わせる

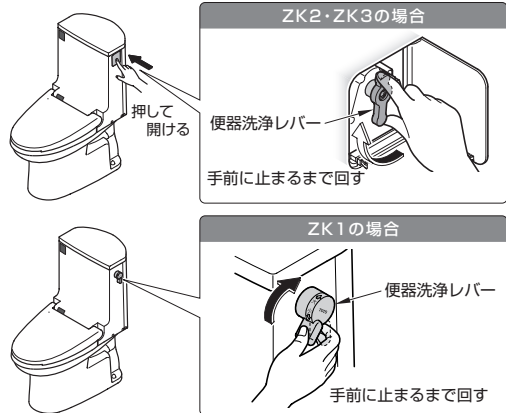
- 浮き玉を軽く手で押さえながら、水位調節リング（ピンク色）を上げて回してください。
- 1/4回転回すと、水位が約8mm変わります。
- 止水水位は、一度便器の水を流してから、自然に止まる位置で確認してください。

③ 調節が終わったら、水位調節リングを下げてロックする

**注意**  
 止水水位は正しく合わせてください。正しく合っていないと、汚物がきれいに流れなかったり、便器の水が止まらなかったり便器が詰まったりすることがあります。  
 ※「WL1」に合わせると便器洗浄水量は8Lに調節されます。便器洗浄水量を10Lに調節したいときは「WL2」に合わせてください。



① 便器洗浄レバーを回して水を流す



② 水が止まったら、止水水位「WL1」に合っているか確認する

① 浮き玉を指先で軽く押し下げたまま、止水栓を徐々に開けて給水する（寒冷地の場合は、水抜栓を徐々に操作して給水する）

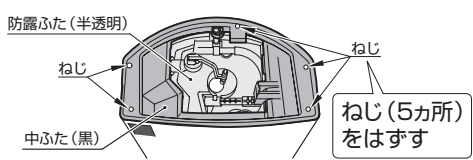
② 止水栓を全開にし（寒冷地の場合は、水抜栓を操作する）、水面がオーバーフロー管より10mm以上、上昇しないことを確認する  
 ※ 10mm以上上昇するときは、止水栓（又は水抜栓）を絞って給水量を調節してください。

⑦ ロータンクの給水量を調節する

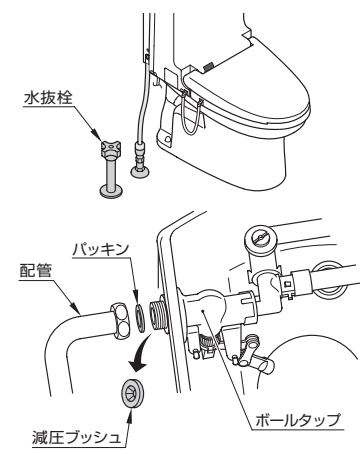
**注意**  
 ロータンクの給水量は、必ず調節してください。水があふれ出し、床をぬらす原因になります。

**確認!**  
 ● 万一ボールタップが故障してもロータンクの水が外にあふれないよう、必ず給水量を確認・調節してください。

水圧が低く、給水に時間がかかる場合は次の手順で減圧ブッシュを取りはずす  
 【寒冷地用（水抜方式、ヒータ付・水抜方式、流動方式）のみ】



1. 中ふた（黒）及び防露ふた（半透明）を取りはずす
2. 水抜栓を操作して、給水を止める
3. 配管の水を抜く
4. 減圧ブッシュを取りはずす

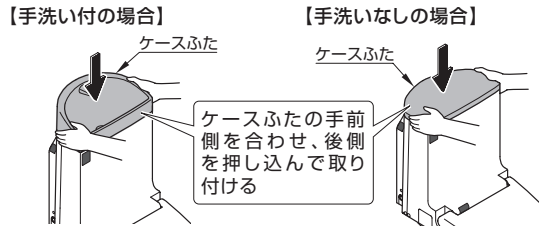
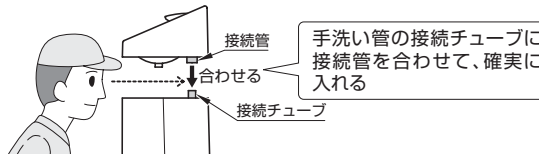
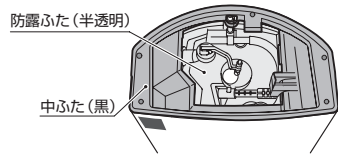
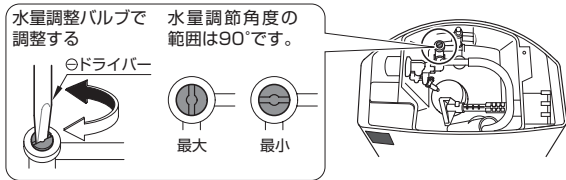


**警告**  
 このとき取りはずした部分から、内部の電気部品に水滴がかからないように、ぞうきんなどで水を受けてください。水滴がかかると、火災の原因になります。

5. 付属の予備パッキン（施工説明書に貼り付け）をセットし、もう一度接続する
6. 防露ふた、中ふたを取り付け、ねじ（5カ所）を締め付ける

水圧が高く、給水音が激しい場合（水抜方式のみ）  
 水圧が高いと、ロータンクへの給水音が激しくなり、給水量が増えます。他の水栓の吐水量に支障のない程度に元栓を絞ってください。

取り付けかた



**⑧ 手洗い水量を調節する**  
【寒冷地用(水抜方式・ヒータ付・水抜方式・流動方式)で手洗い付の場合のみ】

**注意**  
調節中は、水を流さないでください。流すと水が噴き出て壁や床をぬらす原因になります。

**⑨ ケースふたを取り付ける**

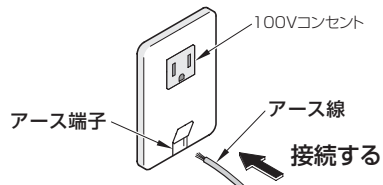
**注意**  
防露ふた(半透明)及び中ふた(黒)を必ず元どおりにセットしてください。セットしないと結露してウォシュレットが故障する原因になります。

**確認!**  
※ 正しく取り付けできたか確認してください。ケースふたが浮いたり、ぐらついたりしていませんか? この場合は、もう一度取り付け直してください。

**注意**  
手洗い付の場合、正しくセットされていないと、流したとき水が噴き出て壁や床をぬらす原因になります。

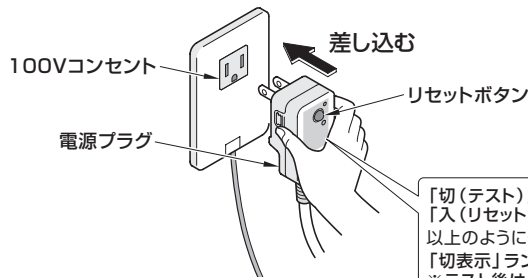
**⑩ 便器の水を流して、手洗い水量が適量になったか確認する(手洗い付の場合のみ)**  
● 適量にならない場合は、項目⑧～⑩の作業を繰り返してください。

## 7 アース線を接続する



アース線をコンセントのアース端子に接続する  
※ アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。

## 8 電源プラグを接続する

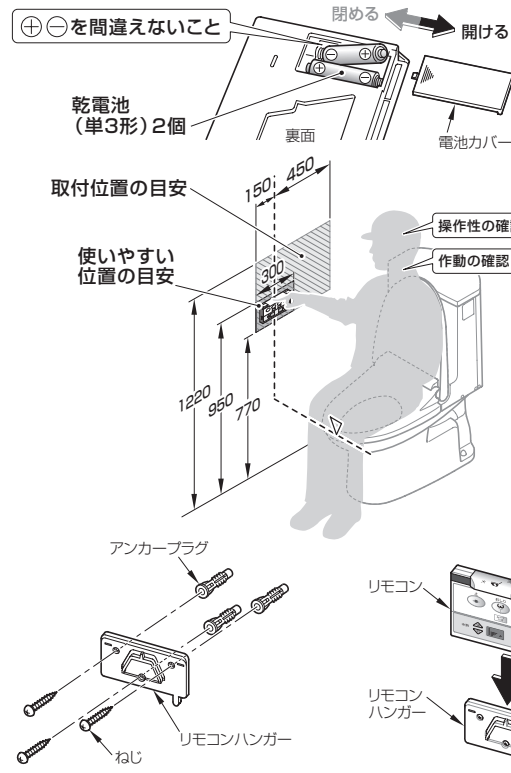


**① 電源プラグを100V(50/60Hz)のコンセントに差し込む**  
ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認

**② 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する**

「切(テスト)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯する  
「入(リセット)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯する  
以上のように作動すれば正常です。  
「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。  
※テスト後は必ず「入(リセット)」ボタンを押してください。

## 9 リモコンを取り付ける



**① リモコンの電池カバーを開け、乾電池を入れる**

**② 次の確認を行ってリモコン取付位置を決める**

**操作性の確認**  
便座に座った状態で操作を行い、取付位置を決めてください。

**作動の確認**  
● 「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してノズルが伸縮することを確認してください。  
● 万一、リモコンで作動しない場合は、図の取付位置の目安範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

**③ リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける**

※ ねじは必ず同梱のねじを使用してください。  
※ ハンガーは必ず3ヵ所固定してください。  
● 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。  
● 石膏ボードやタイル壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。

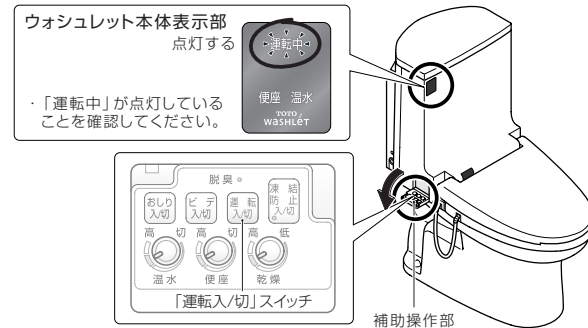
**④ リモコンを取り付ける**

## 試運転

取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。

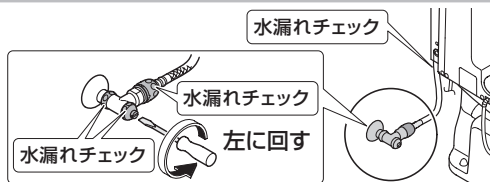
試運転前に必ず確認してください!

● 試運転の前及び試運転完了時は必ず補助操作部「運転入/切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。(「入」のときは、本体表示部の「運転中」が点灯します。)  
「運転入/切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは作動しません。  
※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。



## 1. 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか再確認する
- 止水栓を開けて（または水抜栓を閉めて）配管接続部から水漏れがないことを確認する
- ウォシュレット本体の給水接続部から水漏れがないことを確認する
- ※万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。



## 2. 機能の確認

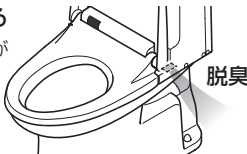
### 1 着座センサーを白紙でおおう

- 白紙でおおうと着座センサーが検知します。



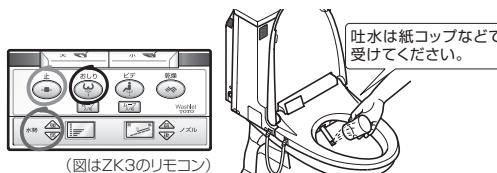
### 2 脱臭機能を確認する

- 本体の右側から風が出ていますか？



### 3 洗浄機能を確認する

- 「おしり」スイッチを押すとノズルから適温の温水が出ますか？  
(温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。)
- 「水勢調節」スイッチを押すと水勢が変化しますか。
- 「止」スイッチを押すと止まりますか。



### 4 乾燥機能を確認する (ZK3のみ)

- 「乾燥」スイッチを押すと、便座後方から温風が出ますか？
- 「止」スイッチを押すと止まりますか？



### 5 暖房便座機能を確認する

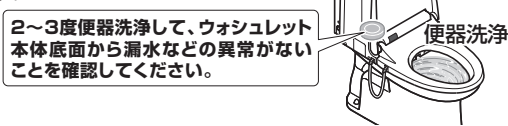
- 便座があたたまっていますか？  
便座があたたまるまで約15分かかります。



### 6 着座センサーの白紙をはずす

### 7 リモコン便器洗浄を確認する

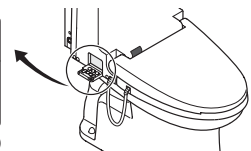
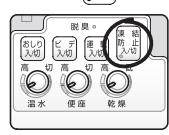
- 大 洗 す 小 を押すと便器の水が流れますか？



### 8 凍結防止機能を確認する

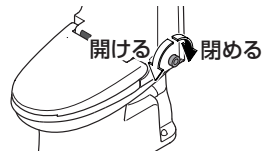
(寒冷地用(ヒータ付・水抜方式)の場合)

- 凍結防止を押すとランプが点灯しますか？
- 確認した後、凍結防止を押してランプを消します。



(流動方式の場合)

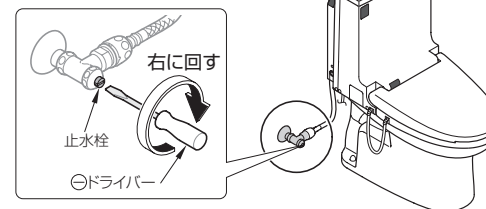
- 流動ハンドルを開けると便器へ水が流れますか？
- 確認したあと、流動ハンドルを閉めて水を止めます。



## 給水フィルターの掃除

給水フィルターが詰まると、適正な性能が得られません。試運転後に次の手順でフィルターの掃除をしてください。

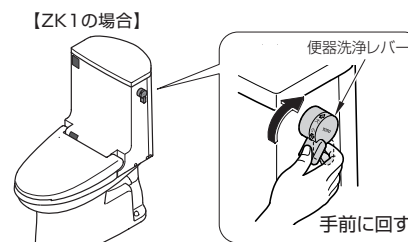
### 1 止水栓を閉めて給水を止める



### △注意

- 止水栓を開けたままで、給水フィルターをはずさない水が噴き出します。

### 2 ロータンクの水を抜く(給水管内の圧抜きです。)



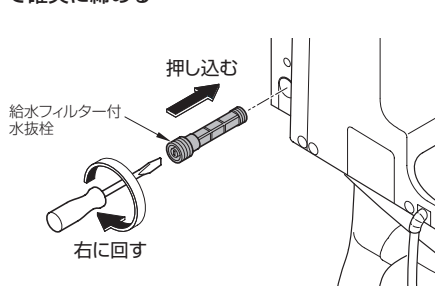
### 3 給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめ



### 4 フィルターの網目に詰まったゴミを水洗いして取り除く



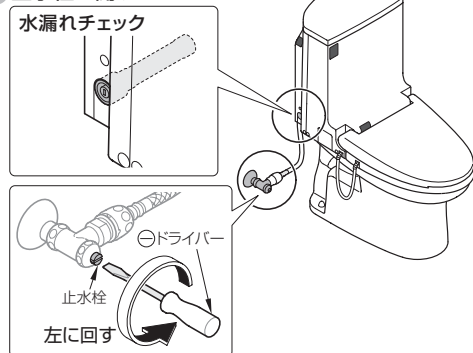
### 5 給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める



### △注意

- 給水フィルター付水抜栓は確実に締める。確実に締めないと水漏れの原因になります。

### 6 止水栓を開ける



- 給水フィルター付水抜栓部から水漏れていないか確認してください。